

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



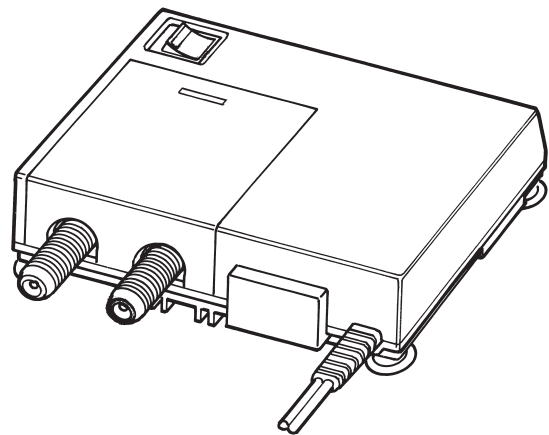
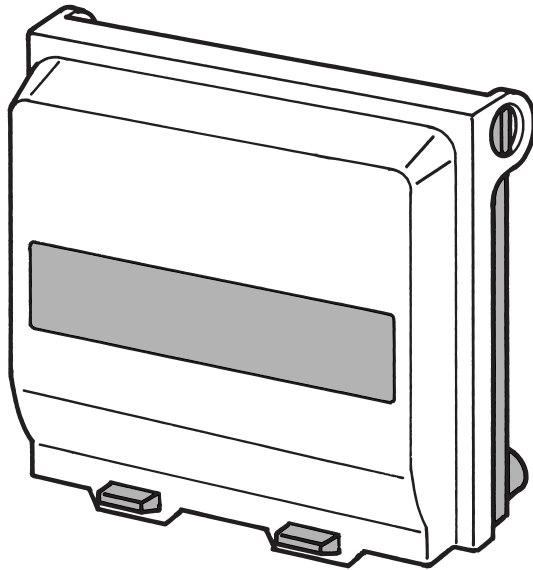
DIGITAL

地上デジタル放送対応

特定地域用ブースタ 富山地区用DC15V電源重畳方式DCブースタ

UHF・VHF増幅

BM-352J



製品の特長

- 富山地区での北陸朝日放送 (ch.25) 受信用。内蔵のフィルタが地上デジタル放送 (ch.24) からアナログ放送 (ch.25) への影響をおさえ、アナログ・デジタル放送ともに安定した美しい画像を約束します。
- 入出力端子にF形接栓を採用し、デジタル放送受信に適しています。
- 入力切換スイッチにより、UHF・VHF混合入力 (1本入力) またはUHF・VHF別入力の2段階に切り換えられるため、現場に即した工事が可能です。
- DC15V電源重畳方式を採用していますので、別売のCS/BS-IFブースタ (GC-301A) との組み合わせにより衛星放送受信システムが構築できます。
- UHF、VHFの各帯域ごとに独立した利得調整回路で、さまざまな電波状況に対応します。
- 耐候性に富む高品質樹脂ケースで、長期にわたり高性能を発揮します。
- 小形・軽量設計で取り扱いも簡単です。
- 耐トラッキング対策形電源プラグを採用した安心仕様です。

安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、電源部はこのブースタ専用ですから他のブースタや電気製品、または指定された電圧・電流容量以外で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



- このブースタの電源部は屋内専用です。屋外で使用したり、風呂場や洗い場など水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。火災や感電の原因となります。



- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



- この製品（電源部と増幅部の間）に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れます。電源コードや同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）、引っばったりしないでください。火災や感電の原因となります。



万一、電源コードや同軸ケーブルなどが傷んだとき（心線の露出、断線など）はお買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- この製品の上でろうそく灯など炎が発生しているものを置かないでください。倒れたりして火災の原因となります。



- この製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- この製品を調理台の付近や高温になる場所では使用しないでください。燃えたり、変形したりして、火災や破損の原因となることがあります。



- この製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。



●この製品の開口部（通風孔など）をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。この製品にテーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置く。



●この製品の上に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。こわれたりしてけがの原因となることがあります。



●この製品（電源部）を直射日光の当たる所や、湿度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●この製品（電源部）を移動させる場合は、必ずプラグをコンセントから抜き、アンテナやテレビなどと接続しているケーブルをはずしてから行なってください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



●旅行などで長期間この製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



●5年に1度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。この製品（電源部）の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行くとより効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。



●お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



《販売店・工事店様の安全上のご注意——お客様もお読みください》



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●このブースタの電源部は屋内専用です。この電源部を屋外で使用したり、風呂場や洗い場など水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどに設置しないでください。火災や感電の原因となります。



●このブースタの増幅部に水が入ったり、内部がぬれたりしないようにカバーを正しく閉め、また、接続する同軸ケーブルの防水キャップを正しく取り付けてください。このブースタの電源部の近くに水の入った容器を置いたりしないでください。火災や感電の原因となります。



●この製品を調理台や加湿器のそばなど高温になる場所、油煙や湯気が当たるような場所に設置しないでください。燃えたり、変形したりして、火災や破損の原因となります。



●不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●この製品（電源部と増幅部の間）に接続する同軸ケーブルには、電流が流れますので、途中には通電形機器以外は挿入しないでください。また、通電形機器を挿入する場合は通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電形機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。



●この製品（電源部と増幅部の間）に接続する同軸ケーブルには、電流が流れますので同軸ケーブルの先端加工で心線と編組線が接触しないようにしてください。火災や感電の原因となります。



●取り付けネジや、ボルトは、指定している力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



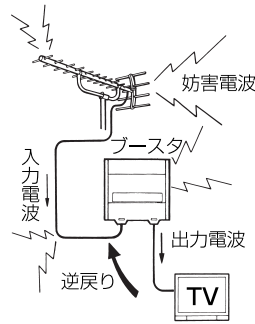
お取扱いの前に

- 取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行なってください。
- ブースタを落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- このブースタは、増幅部と電源部を結ぶ同軸ケーブルに電流が流れます。途中に通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、途中に通電形機器を挿入する場合は、通電端子をよく確かめてお使いください。
- 使用時、異常が生じた場合はただちに電源の供給を止め、原因を確かめてください。
- 電源部は、電源コンセントの近くで、異常が生じたときにすぐに電源プラグを抜くことができる場所に設置してください。

■ブースタは正しくお使いください。

ブースタを正しく取り付けないと、自分の家や近所のテレビの映りが悪くなる場合があります。

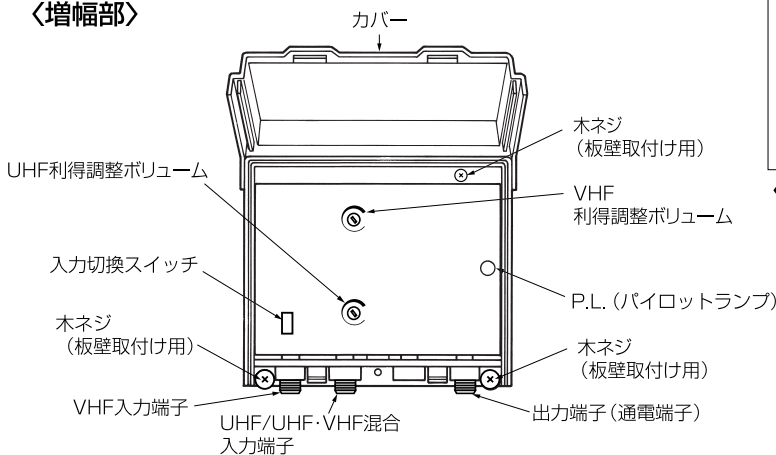
- ①入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書に従い確実に行ってください。
- ②入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースタに巻きつけないでください。
- ③配線は、必ず同軸ケーブルをご使用ください。
- ④アンテナマストに取り付ける場合、各アンテナとブースタの距離を1m以上離してください。



ブースタを正しく使用しないと増幅器内で増幅された出力電波が、正常にテレビセットへ送られなかったり、出力電波の一部が入力側に逆戻りして、発振（妨害電波を発生する現象）を起こすことがあります。一台のブースタが発振を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなる場合があります。

各部の名称

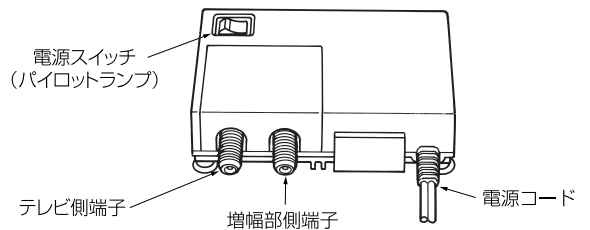
〈増幅部〉



電源部のパイロットランプが点灯しない場合、同軸ケーブルなどによるショート可能性があります。ただちにスイッチを切り、接続を確認してください。

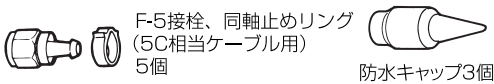


〈電源部 PS-37〉

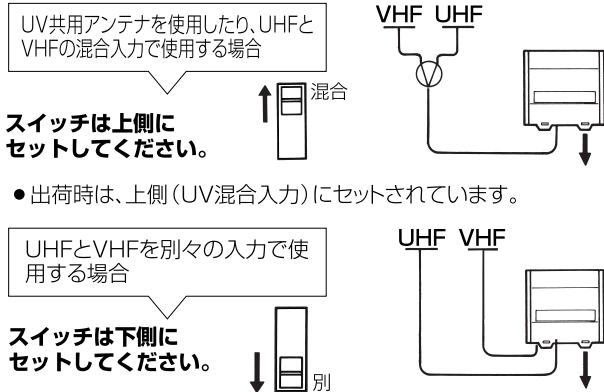


- 電源部はPS-37を使用してください。（ただし、GC-301Aを組み合わせてご使用の場合はGC-301A付属の電源部PSD-3を使用してください。）指定と異なる電源部を使用すると故障の原因となります。
- スイッチを切り換える場合、切換操作を数回行い、スイッチ接点部の活性化（クリーニング）をしてください。

付属品



入力切換スイッチの操作

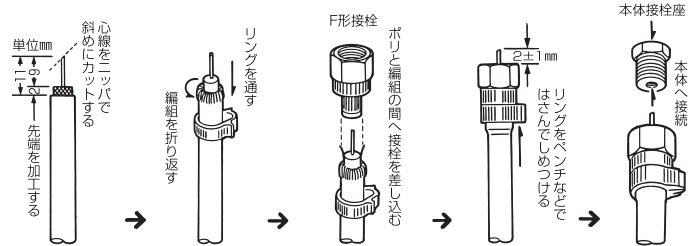


同軸ケーブルの接続方法

〈F-5接栓（付属品）への同軸ケーブルの接続方法〉

増幅部を屋外に設置する場合、防水キャップ（付属品）は同軸ケーブルの太さに合わせて先端を切断し、あらかじめ同軸ケーブルに通しておいてください。

締付トルク
2N・m



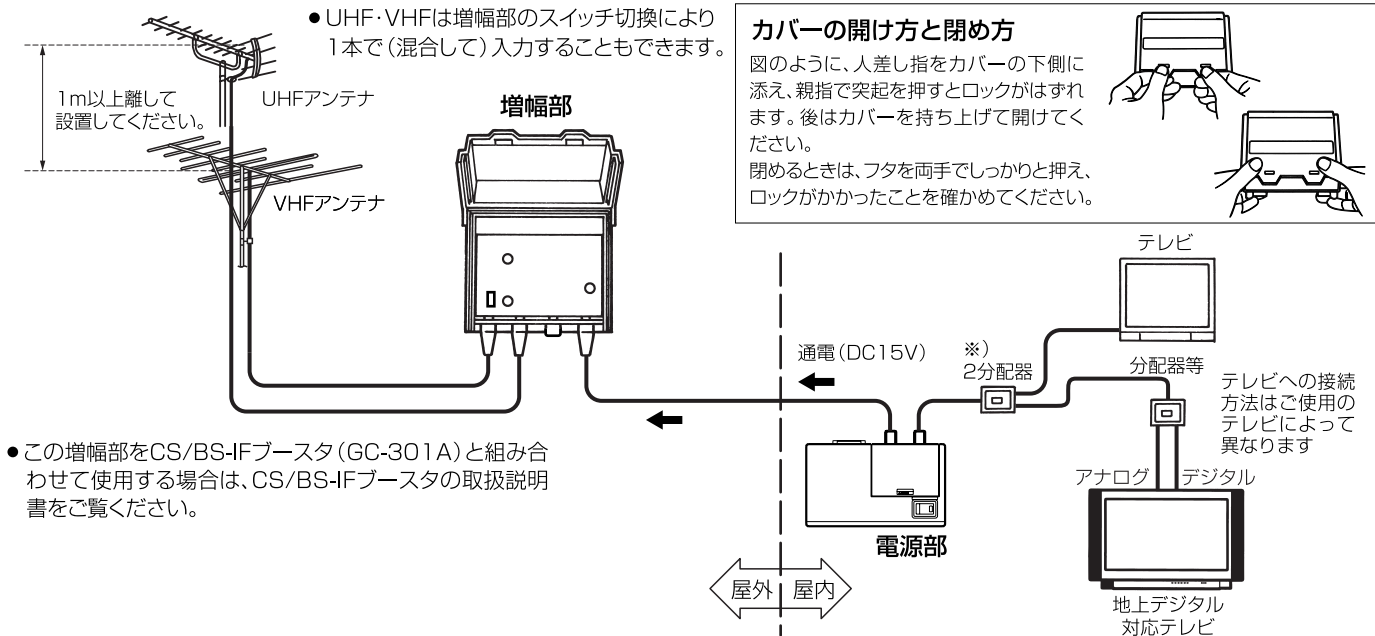
- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。
- 電波を効率よく伝送するため、同軸ケーブルは5C-FVS、S-5C-FBの低損失ケーブルをおすすめします。また、BS-CDXなど、他のサイズの同軸ケーブルをご使用の場合、それぞれの同軸ケーブルに適した接栓（別売）をご使用ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 防水キャップは増幅部本体にすきまなく奥まで確実に差し込んでください。内部に雨水などが入ると故障の原因となります。

利得調整ボリュームの操作

- 各帯域において、利得を標準から-10dBまで連続で調整できます。
- 出荷時はすべて-10dB（利得最小）位置にセットされています。入力レベルが低く、スノーノイズ等が目立つ場合は、画像に障害がなくなる位置までボリュームを0dB（利得最大）方向に調整してください。



使用例



※) 通電形の分配器を使用する時は、分配器を増幅部と電源部の間に入れることもできます。

電源の供給

- 電源の供給は、必ず取付工事が終って、すべての同軸ケーブルが正確に接続されていることを確認してから行なってください。
- 電源部のACコードを室内のコンセントにつなぎ、電源スイッチをONにすると電源部と増幅部のパイロットランプの点灯と同時にブースタが動作します。パイロットランプが点灯しない場合、ただちにスイッチをOFFにし、接続を確認してください。
- 付属の電源部でCSやBSアンテナのコンバータへの電源供給はできません。CSやBSと混合してご使用の場合は、別途CS/BS-IFブースタ(GC-301A)と組み合わせてお使いください。

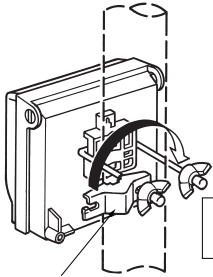
使用上のご注意

<p>増幅部とアンテナは必ず1m以上離し、電源部への同軸ケーブルをアンテナよりできるだけ遠ざけ、必要以上に長く引き廻さないでください。</p>	<p>同軸ケーブルは束ねたりせず少し余裕のある程度でご使用ください。</p>	<p>ブースタを取り付けてもテレビ画面にスノーノイズ(鮮明な画像が得られない)が目立つ場合はアンテナの位置を変えたり、場合によっては素子数(エレメント)の多いものに取り換えてください。</p>	<p>指定の地域内でもアンテナの設置状態が悪かったり建造時の障害を受けるような場合はブースタを設置しても良好に受信できないこともあります。</p>
<p>増幅部は「防雨形」ですが、ショートや故障の原因にならないように、ブースタのカバーは確実に閉じて雨水がはいるらないように注意してください。</p>	<p>増幅部と電源部を結ぶ同軸ケーブルには電源が重畳されていますから、途中には通電形機器以外は絶対に入れないでください。</p>	<p>電源部はこのブースタ専用の電源部ですから、他のブースタに使用することはできません。また他の電源部をこのブースタに使用する場合、当社指定品以外は使用しないでください。</p>	<p>電源部は電源スイッチを切っても待機電流が流れています。万一、異常が生じたときには、すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。</p>
<p>ブースタを長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。</p>	<p>ブースタの電源部は感電する恐れがありますので、カバーをはずしたり、絶対に分解しないでください。</p>	<p>電源部は狭いところに押し込んだり、上に物を置いたり、ストーブのような発熱体の近くに置いたりしないでください。</p>	<p>この電源部は屋内専用です。水の入った容器の近くや、湿気、ホコリの多い場所には置かないでください。</p>
<p>火災や感電、故障の原因になりますので、電源部に異物を入れたりしないでください。</p>	<p>〈ご参考〉</p> <p>締付トルクとは、ネジを締める力の数値です。たとえば、スパナを用いてネジから10cmのところまで40N(約4kgf)の力を加えたとき40N(約4kgf)×0.1m=4N・m(約40kgf・cm)となります。</p>		

取付方法

〈増幅部のマストへの取付け〉

背面のマスト取付金具で、図のように取り付けてください。



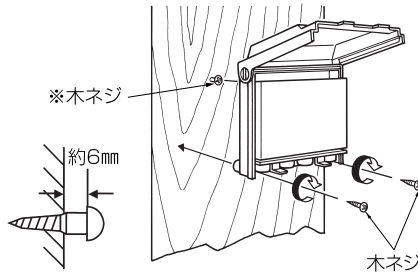
締付トルク
1~1.5N・m

マスト取付金具

- 取り付け可能なマストは、直径25~43mmのものです。

〈増幅部の板壁への取付け〉

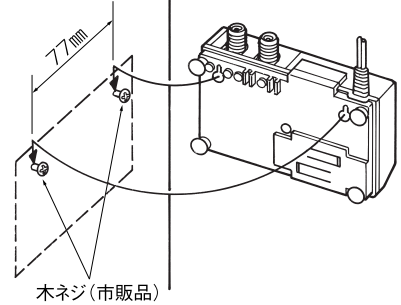
本体ケース内で右上に付いている木ネジ1本をあらかじめ板壁に取り付け、本体を引っかけてから、図のように、カバーを開いて増幅部仮止めの木ネジ2本で取り付けてください。



※このネジは最後まで締めさらずに約6mm手前でとめる。

〈電源部の板壁への取付け〉

電源部はテレビの上などに置くだけでなく、底面の壁掛用木ネジ穴を利用して、図のように柱または板壁に取り付けることができます。



電源部木ネジピッチ 77mm(実寸)

規格特性

〈増幅部 BM-352J〉

品名	UHF・VHF特定地域用ブースタ					品番	BM-352J	
使用帯域	VHF	UHF				使用帯域	VHF	UHF
使用チャンネル(ch.)	FM-1~3.4~12	13~22	24	25	27~34	入力インピーダンス(Ω)	75(F形)	75(F形)
標準利得(dB)	27~33	7~18		25~32	7~18	出力インピーダンス(Ω)	75(F形)	
利得調整範囲(dB)	0~-10	0~-10				重畳電源(WmA)	DC15(伝送線重畳式)/150	
適正入力レベル範囲(μV)	37※~62	45※~77		38※~63	45※~77	使用温度範囲(℃)	-20~+50	
定格出力(μV)	95	95			アナログ3波+デジタル5波(-1.0dB)	外形寸法(mm)	118(H)×136(W)×53(D)	
V S W R	3.0以下	3.0以下				質量(kg)	0.35	
雑音指数(dB)	2~4.5	—		3~5	—			

〈電源部 PS-37〉

電源(V/W)	AC100(50/60Hz)/5	挿入損失(dB)	0~1.5
重畳電源(WmA)	DC15/150	使用温度範囲(℃)	-10~+40
入力インピーダンス(Ω)	75(F形)	外形寸法(mm)	35(H)×120(W)×86(D)
出力インピーダンス(Ω)	75(F形)	質量(kg)	0.3

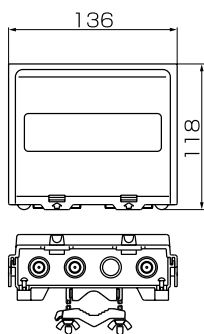
※印は実用限の値です。

JEITA表示による。

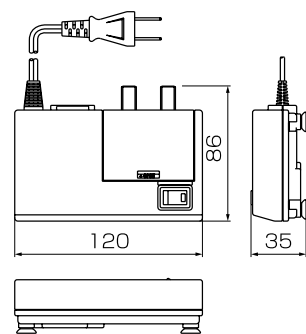
- 電源部の規格は、電源部本体の裏面にも表示しています。
- 規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

外形寸法図

〈増幅部〉

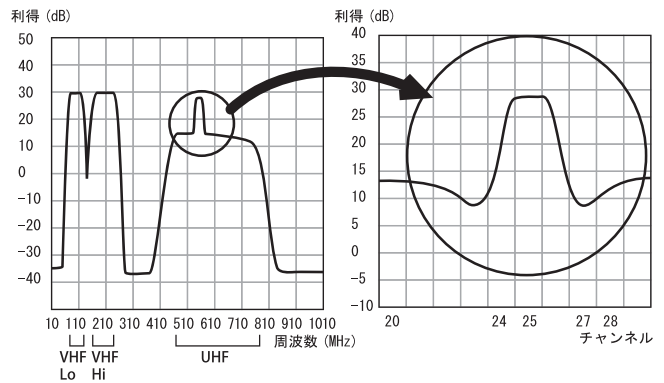


〈電源部〉



(単位: mm)

特性図



詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| ・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代) | ・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代) | ・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代) | ・広島支店 TEL.(082)237-5331(代) |
| ・東北支店 TEL.(022)243-2141(代) | ・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代) | ・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代) | ・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代) |
| ・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代) | ・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代) | ・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代) | ・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代) |
| ・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代) | ・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代) | ・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代) | ・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代) |
| ・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代) | ・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代) | ・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代) | ・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代) |
| ・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代) | ・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代) | ・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代) | ・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代) |
| ・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代) | ・中部支店 TEL.(052)771-5106(代) | ・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代) | ・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代) |
| ・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代) | ・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代) | ・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代) | ・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代) |
| ・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代) | | | ・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代) |
| ・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代) | | | ・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代) |

(2004年5月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
 カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く) ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>